

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

奥州市長 倉成 淳

市町村名 (市町村コード)	岩手県奥州市 03215	
地域名 (農林業センサスにおける地域内農業集落名)	江刺 歌読地区 (歌読)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月5日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・歌読生産組合が転作作物(大豆、飼料作物)の受託作業を行っている。
 ・一部高齢化により作業困難農家の畦畔草刈りを受託しているが、受託作業する構成員も高齢化で作業困難となっている。
 ・以前のアンケートで、農家の高齢化や後継者不足で、将来的には生産組合に作業委託したい農家が7割あったが、受託者の高齢化で受託困難な可能性の課題も見えてきた。

【地域の基礎的データ】

・集落営農組織:1組織、個人担い手:2経営体
 ・主な生産品目…水稻、大豆、飼料作物、繁殖牛 など

(2) 地域における農業の将来の在り方

・組合の法人化や認定農業者に基盤整備した農用地を集積し、効率化を図る。
 ・水稻を中心に行い、圃場条件が良ければ飼料作物にも取り組み畜産振興を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	72.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	72.3 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

・農振農用地を含む基盤整備事業の対象農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・基盤整備事業を進めることで、集積や集約化を図りたい。
(2)農地中間管理機構の活用方針
(3)基盤整備事業への取組方針
・作業効率を上げるためには、基盤整備事業が必要であり、また、将来の法人化や担い手集積を進めるためにも必要である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組方針】

--